

市原市統計調査員協議会 渡邊会長挨拶



この度、笹川輝夫会長の後任として新会長を仰せつかりました、渡邊儀兵衛でございます。これまで統計調査員として、長年御活躍されている経験豊かな多数の会員の皆様がおられる中、浅学非才の私が会長に就任したことに、身に余る重責を感じている次第であります。統計は、数値を用いて社会全体がどのような姿をしているかを明らかにする指標であり、政策立案や遂行のための基礎資料として、国の実態や課題を理解することの手助けとなるなど、民主社会の基盤を形成する上で、重要な役割を果たしております。まさに「統計は現在をうつす鏡」と言われる所以であります。明治・大正期の政治家で、現在の早稲田大学の創立者である大隈重信の言葉に「政府は政策の良し悪しを判断するためには、現在の国の情勢を明らかにし、過去の施策の結果と比較してみる必要がある。」と当時から統計の重要性について話されておられます。近年、社会経済の急激な変化と情報処理技術の発達に伴い、統計に対する需要は、ますます高まっております。これからも統計の重要性について、広報・啓発し、さらなる理解を深めるべく、微力ながら職責を果たす所存でございますので、笹川前会長同様に皆様方の御支援と御協力をお願い申し上げます。

平成30年度市原市統計大会の開催について

平成30年度市原市統計大会が、5月13日(日)に市原市市民会館で開催されました。「統計思想の普及・発展と統計関係者の士気高揚を図る」ことを目的とし、第1部では、統計功労者表彰式が行われ、式典には小出市長にも御臨席いただき、市長感謝状1名の贈呈に続き、協議会長表彰2名が授与されました。第2部の統計調査員協議会総会では、平成29年度事業報告、歳入・歳出決算及び会計監査が報告され、続いて役員改選、平成30年度事業計画、歳入・歳出予算案が上程され、それぞれ承認されました。第3部の統計調査員研修会は、市統計調査室により「平成30年度に実施する基幹統計調査について」と題して開催されました。第4部では、各部会ごとに会議を行い、テーマに沿って活発に討議されました。第5部の懇親会では、34名の会員に参加いただき、渡邊会長による隠し芸の御披露で、皆の心を和ませるなど、大変有意義な一日となりました。



(小出市長御挨拶)



(受影者の皆様)

平成30年度全国統計大会について

本年度も「全国統計大会」の参加者を下記のとおり募集します。

開催日 平成30年11月19日(月)

開催場所 東京都渋谷区佐々木神園町 国立オリンピック記念青少年総合センター

内容 統計功労者表彰式、統計活用セミナーの開催(予定)

申込方法 参加希望者は9月28日(金)までに市統計調査室(TEL:0436-23-9864)まで御連絡ください。

その他 ・諸費用については当協議会にて負担します。

・当日のスケジュールについては決定後に当人にお知らせします。

・応募多数の場合は当協議会にて参加者の選定をさせていただく場合がありますので、予め御了承ください。



(前年度大会より)

統計功労者表彰を受彰して

平成 30 年度市原市統計調査員協議会会長表彰 受彰者 金澤 祐一 様より



この度、表彰対象の年数に達していたことに大変驚いております。また、期間だけでなく、従事の際の対応スキルを今後も向上させようと改めて考える機会にもなりました。私は、リタイア後、心も身体も健康に日々過ごしたい、地域で何か活動できることはないかと考えておりました。そんな中、市内公民館の主催行事に参加し、同年代の仲間から市原市で統計調査員を募集していることを知り、平成 23 年に調査員として登録させていただきました。最初に従事したのは、経済センサス活動調査でした。説明会にて、初めにこの調査のあらましについての説明を受け、次に調査員の心得についてと、面接の心得について、お話をいただきました。いずれも大変重要な内容で、特に面接時の心得については、どの統計調査にも共通するものだと思います、調査活動の際の私の行動方針にしました。私は、これまでの調査活動で、趣味等の会話を交わしながら、調査の対象となる相手方の思い、考えをじっくり伺うことで、より多くの方々に協力いただけるとの経験を得ました。今後も、調査の趣旨を丁寧に説明させていただき、先方様の意見を真剣に伺うことが協力をいただけるコツではないかと考え、調査員として従事したいと考えております。

市統計調査室から

統計調査員協議会の皆様におかれましては、日頃より各種統計調査や協議会活動に積極的な御協力を賜っておりますことを厚くお礼申し上げます。また、現在実施しております「平成 30 年住宅・土地統計調査」につきまして、皆様には調査員・指導員として従事していただきますことはもとより、友人の方々に御紹介いただくなど、調査員の確保にも多大なる御尽力を賜りましたことを深く感謝申し上げます。さて、近年はプライバシー意識の高まりなど、統計調査を取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、調査から得られた結果は、施策の方向性を判断する基礎資料となるなど、重要なデータとして活用されますので、調査用品の紛失や交通事故等に十分に御注意の上、今後とも統計調査業務に御協力くださいますようお願い申し上げます。本年度の市統計調査室につきましては、中條室長、坂村副主査、地主主事、そして、協議会事務担当の井川主事の 4 名で業務を行ってまいります。統計調査員協議会とは「車の両輪」として、共に統計調査を円滑に実施していきたいと考えておりますので、よろしくようお願い申し上げます。最後に、まだまだ暑さの厳しい日々が続くと思われますので、健康には十分御留意ください。

◇編集後記◇

地球温暖化と気象の変化に想う

数十年に一度といわれる豪雨災害。あれほどまでの集落の崩壊と熱暑の中の復旧作業は、想像を絶するもので胸が痛みます。 伝わらない危機!!! 水が迫ってきても、まさか…。 「逃げるほどではない」「まだ大丈夫」!!! 「伝える側」と「受け取る側」に大きな差があったのではないのでしょうか？

公助(ハザードマップ・避難場所を繰り返し周知する)・共助:(繰り返し防災無線で避難を呼びかける・私も避難しますの一言)・自助(「命の危機」が少しでも迫っていると感じたら至急避難する)を三位一体で機能させなければなりません。

我が国は昔から自然災害の多い国です。今回の教訓を活かすには、災害に対する備えと、各自の役割に対する理解が必要となります。また、最近の暑さについては、命の危険があるとまで報道されており、それに伴う救急車の出動回数の多さにも驚きます。地球温暖化には様々な要因があると思いますが、温暖化を防ぐためには、自分に何ができるかを考え、身近なことから行動を起こしましょう!!!

広報部会長 羽良 好子